

極地研からの北極宙空圏研究 に関する報告・周知

- 1) アメリカ・カナダへの若手派遣事業募集
(北極環境研究コンソーシアム(JCAR))
- 2) JCAR長期構想の進捗
- 3) ASSW/ISAR-4のアナウンスメント
- 4) EISCAT_3D概算要求の現状

小川泰信、宮岡宏、中村卓司(極地研)

1) アメリカ・カナダへの若手派遣事業募集

1. 目的: 本事業は、北極圏に位置する関係国の主要研究機関への優れた若手研究者の派遣を支援し、国際共同研究に参画する機会等を提供することにより、我が国における北極環境研究の将来を担う国際的視野に富む有能な研究者を養成するとともに、新たな人的ネットワークを構築し、次代へ継続する北極研究体制を構築することを目的とします。
2. 対象分野: 北極環境研究に関するすべての研究分野
3. 採用予定数: 対象国(アメリカ合衆国及びカナダ)毎に7名程度
4. 身分: 博士の学位を取得後10年未満の研究者又は、大学院学生
5. 派遣支援期間: 2週間以上、半年程度までの間。
(注: 派遣開始日は、平成26年7月1日～平成27年2月28日まで)
6. 派遣支援対象機関
 - ①アメリカ合衆国: 国際北極圏研究センター等のアラスカ大学
 - ②カナダ: ArcticNetに参加している大学等研究機関
<http://www.nipr.ac.jp/grene/fellowship/ArcticNet.html>
7. 第1回申請期間: 平成26年5月12日(月)～5月16日(金)
(開始日が平成26年7月1日以降の計画、7月/11月にも申請期間有)
8. 詳細は <http://www.nipr.ac.jp/grene/fellowship/index.html> に掲載。

2) JCAR長期構想の進捗

北極環境研究コンソーシアム(JCAR)が中心となり、北極環境研究の長期構想報告書を作成中。主たる15のテーマの1つに「**ジオスペース環境**」を設けて執筆(12名の執筆者WG)。現在第2稿の査読中。

- ・テーマ1 Q5 (温暖化増幅) 主担当者: 三好先生(九大)
- ・テーマ5 Q4 (全球への影響) 主担当者: 藤原先生(成蹊大)
- ・テーマ7 Q4 (社会への影響) 主担当者: 大塚先生(名大)
- ・テーマ10 Q1 (ジオスペース) 主担当者: 三好先生(名大)
- ・テーマ10 Q2 (超高層から下層・中層) 主担当者: 三好先生(九大)
- ・テーマ10 Q3 (下層・中層から超高層) 主担当者: 坂野井先生(駒大)
- ・テーマ10 Q4 (中・低緯度への影響) 主担当者: 塩川先生(名大)
- ・テーマ10 基盤整備 主担当者: 藤原先生(成蹊大)

「**現在進行中の地球温暖化に伴う北極の急激な環境変化を解き明かす**」
「**北極環境研究の広範な重要課題**」の章にそれぞれ掲載。

JCAR登録会員からコメント募集中(5月12日締切 <http://www.jcar.org/>内から第2稿をダウンロード可能)。第3稿の提出締切: 6月9日

3) ASSW/ISAR-4 のアナウンスメント



First Circular



April 23-30, 2015

Toyama International Conference Center,
Toyama, Japan

<http://www.assw2015.org/>

「Arctic Science Summit Week
(ASSW) 2015」

開催日: 2015年4月23日～30日

場所: 富山国際会議場(富山市)

<http://www.assw2015.org>

4月28日～30日(予定)には

「ISAR-4: Fourth International
Symposium on the Arctic Research」
を開催。Atmospheric science と

Geospace のセッション予定。

5-6月に公募セッション有り。

1st Circular をまもなく公開。

4) EISCAT_3D概算要求の現状

EISCAT_3D計画を含む「太陽地球系結合過程の研究基盤形成」については、マスタープラン2014の重点大型研究計画に選出された(2014年3月アナウンス)。

2014年3月下旬に、極地研から情・シ研究機構へ概算要求。
設備費25億円、運営費10億円(10年間)

2014年4月中旬に、情・シ研究機構におけるヒヤリング。
その後、文科省学術機関課へ。

- ・EISCAT協会加盟国やEISCAT本部との調整を継続中。
- ・提案書(EISCAT_3D)を作成中。